

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 恵愛会	代表者	理事長 吉田政子	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、母体の障害者支援施設・介護老人福祉施設の他、グループホーム3ユニット、通所介護事業所等の居宅サービスを運営している。当事業所は、大佐地域中心部の便利の良い場所に位置し、パラグライダーの聖地として知られる雄大な大佐山を背景に臨み、利用者は日々散策や地域住民との触れ合いの中で、四季の移ろいを感じながら穏やかに過ごし、住み慣れた自宅や地域で末長く生活することを希望している。事業所内は、バリアフリー仕様となっており地域交流サロンも設置され、地域の老若男女誰もがいつでも自由に集えるよう開放している。また、月1回認知症カフェを実施し、介護相談や介護のリフレッシュ支援を行っている。また隣接する大佐認定こども園の園児とも定期的に交流出来ている。
事業所名	小規模多機能ホーム わきあいあい	管理者	管理者 柴田淳子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	5人	1人	1人	0人	1人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全員が、評価をするという事を十分理解する。 改善計画の内容は、職員が熟知し、取り組んでいく。	職員全員が評価について理解し、全員で取り組んだ結果、改善出来ている。	外部評価で事業所自己評価を確認する事で分かることが多い。普段、言葉では言わない事が、間接的に良くわかる。 個人情報の管理では、利用者台帳等の書類は、鍵のかかる、名前が見えない保管庫で管理している事などが良くわかった。 自己評価は、毎年大きく変わる事は無い。 現状維持するという事は、難しいことだと思う。	職員全員が、評価をするという事を十分理解する。 改善計画は、全職員で取り組み達成可能な計画にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	通い時、利用者一人一人の状態や能力に合った趣味娯楽活動を行い楽しんで過ごしていただく。 地域住民の要望を聞きながら、地域交流サロンの利用について検討する。	利用者個々の状況や能力に合わせ趣味活動をして頂いた。又、席の配置も考えながら決めている。 地域住民の要望にて、地域交流サロンを利用していただけることが出来た。今後も要望に応じて対応していく。	17時以降、利用者の帰宅願望があり、度々利用者一人で外へ出るというヒヤリハットがあった為、職員玄関の鍵を閉めて対応し、正面玄関は開けてセンサー対応している。 ということがわかった。 要望で、地域交流サロンを利用する事が出来た。	今後も、地域の方が事業所に入りやすい雰囲気づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所のパンフレットを各関係機関等に配布し事業所の広報に努める。 地域ボランティア、実習生の受け入れを積極的に行う。	認知症カフェのパンフレットは、開催のつど各関係機関へ配布し広報に努めた。地域新聞にも掲載した。 地域の中学校、小学校のボランティア受け入れ、大佐認定こども園との交流を積極的に行なった。 実習生の受け入れも積極的に行なった。	認知症カフェのパンフレットを回覧する事で、今まで参加していなかった人も興味を持ち参加しようという人もいる。参加する事で、事業所のことがわかることもある。 事業所は、近所の人は知っていると思うが、他の地域の人は知らない人もいると思う。 事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに、個人としての参加なのか、事業所スタッフとしてなのか？個人としてなら、職員の自己評価としてあげて、スタッフの自己評価が出来るのではないかと。 地域の行事への参加や、地域の祭典へ出品する事で関わりが出来ている。	事業所を、他の地域の方にも知っていただけるよう努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の高齢化、重度化により外出等が困難になってきている。今後、利用者の状態に合わせた外出がまんべんなく出来るようにする。	利用者の体調や状態に合わせ、地域の行事や活動に参加することで、地域の方とのふれあいが出来た。	利用者以外の方で、認知症カフェで相談を受けたり、地域ケア会議で必要な人の情報があれば、担当に繋げているということがわかった。 わきあいあい利用者の送迎の際など、近くの独居の方の様子を確認する事が出来るか。	今後も、地域で心配な方の情報収集に努め、必要な対応をしていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>今後も運営推進会議で忌憚のない多くの意見、助言、提案をいただき改善につなげていく。</p>	<p>運営推進会議にて外部評価を実施し、多くの意見をいただくことで改善につなげることが出来ることもあった。</p>	<p>運営推進会議では、事業所の取り組みが解りやすく説明されている。 今後の向上に向けて、どのように取り組んでいくか。 改善計画は、改善しないと評価の意味がない。 運営について、1人で課題を出そうとしても難しい。たくさんの人ですれば意見も出やすい。</p>	<p>今後も運営推進会議を、多くの意見、助言、提案を言う事が出来る会議にし、改善、向上につなげていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>今後も定期的に防災訓練を実施する。引き続き災害時、避難場所として利用していただけるよう備蓄食を備える。</p>	<p>消防署員立ち合いで消防避難訓練実施し、火災時、避難時の注意事項を学んだ。又、非常通報装置や設備等についての説明、使用方法の指導を受け、模擬消火器を使用した消火訓練も実施し、消火器使用方法も改めて学んだ。</p>	<p>隣接する大佐認定こども園との合同で、防災訓練を実施するのはどうか。 運営推進会議に合わせて防災訓練を実施するのはどうか。 防災訓練の参加案内を回覧することで、地域の人も参加し一緒に訓練できるのではないか。 土砂災害や洪水だけでなく台風の被害も考えた訓練も必要。(停電、断水時などの対応)</p>	<p>夜間を想定した防災訓練の実施や、運営推進会議に合わせて行うなど、実施方法の工夫をする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 6 日 (13 : 00～14 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	9 人	5 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画
連絡帳の活用等さらに利用者の家族・介護者との連携を密にとり、相談しやすい関係づくりに努める。又、情報の共有等に力を入れサービス提供に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
連絡帳は、施設からの連絡や状態報告のみだけでなく、家族・介護者からの連絡や報告も増えてきた。又、必要時には電話で連絡を取り合い良い関係づくりが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	6	1	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	9	6	0	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	9	6	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9	5	1	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用前に、本人・家族・介護者と面談を行ない、本人の現在の生活状況、身体状況の把握に努め、フェイスシートに細かく記入し、職員間で情報の共有を図っている。又、本人の様子だけでなく家族・介護者のニーズを傾聴し家族を含めた支援、本人、家族・介護者の想いに添った支援に努めた。初めての利用時には、席の配置や声かけなどの気遣いをしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者の中には、独居の方で家族が遠方だったり、訪問時や送迎時に家族が不在のことが多い為、家族の想いを十分に把握することが難しい事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	今後も、連絡帳や電話連絡などで家族・介護者との連携を密にとり、相談しやすい関係づくりに努める。特に遠方の家族に対しては、電話連絡などで連携を図るよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 6 日 (13 : 00～14 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	9 人	1 人	1 人	15 人

前回の改善計画  
今後もサービス計画書やフェイスシート等からの情報や日々のかかわりの中から、本人の「～したい」の気持ちや意志の把握に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
サービス計画書やフェイスシート、日々の関わりの中から本人の「～したい」の気持ちや意志を把握するよう努めたが、認知症や重度化により本人の想いの把握が難しい場合があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	10	0	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7	6	1	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	6	7	1	1	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7	5	2	1	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
日々のかかわりの中で、本人の「～したい」という思いを理解し、その気持ちに寄り添い近づけるよう努めた。利用者一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、本人のニーズや意志の把握に努めた。かかわった内容は記録に残し職員間で共有し反省するところは具体的にチェックし、次の対応に活かせるよう努めた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
利用者の「～したい」の気持ちを認識できていてもゆっくり関わる事が出来ず実現する事が困難なこともあった。又、サービス計画書の把握が十分にできていない事もあり、本人の「～したい」という思いの理解が不十分の事があった。  
認知症の進行や重度化により、本人の想いの把握が難しい場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
サービス計画書の利用者、家族の意向等の把握に努めるとともに、日々のかかわりの中から、認知症の方の「～したい」の気持ちを理解するよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 8 日 (13:00~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画  
利用者の生活歴の見直しを再度行ない、本人の目標に沿った支援をする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
生活歴の見直しをすることは利用者、家族の状態によっては難しい場合もある。  
日々の関わりの中から利用者個々の生活歴の見直しを行ない、本人の目標に沿った支援をするよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	12	3	0	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	5	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	8	4	3	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	5	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	10	5	0	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
毎回利用時にバイタルチェックや聞き取りを行ない記録に残し心身の健康状態把握に努めた。異常発見時には看護師に報告し、家族、かかりつけ医に連絡し適切な受診や指示を仰ぐことが出来た。体調や病状、嚥下状態に合わせた食事の提供、入浴は、本人の希望や体調に合わせ、ドライシャンプー、足浴、陰部洗浄、シャワー浴を行うなど気持ちの変化に対応した支援を行なっている。  
本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度職員間で共有し、本人の気持ちに寄り添うよう努めた。又、その時の状態に応じた対応が出来ていた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
認知症の進行や重度化などで本人の気持ちを汲み取ることが難しくなっている。  
状態や情報の確認、把握不足のため、ミーティング等で本人の声にならない声を言語化しても統一した支援が出来ていない事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
認知症の進行や重度化により自分の気持ちを言葉にできない方に対して、日々の関わりの中から本人の想いを汲み取るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 8 日 (13 : 00 ~ 14 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	3 人	0 人	15 人

前回の改善計画	主に独居の方に対しては、必要に応じて民生委員との連携を密にとり、情報収集を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の異動など報告することで、地域の民生委員との連携が少しずつ出来てきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	10	2	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7	7	1	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	10	2	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	6	4	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
フェイスシート等の情報や日々の関わりの中から、本人の生活スタイルは把握出来てきている。事業所が直接接している時間帯の様子は把握できるが、直接接していない時間帯の様子は、訪問時や送迎時、連絡帳を活用し、家族から情報を得よう努め職員間で共有している。しかし、独居の利用者の中には、認知症のため十分な情報を得ることが困難で生活の様子が把握出来ない場合もある。本人の担当地域の民生委員の把握は出来ており、連携をとるよう努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所が関わっていない時間の本人の様子、本人を取り巻く近所の方や知人等の存在の十分な把握が出来ていない。とくに認知症で独居の利用者は把握が難しい。地域内の資源で活用出来るものは把握しているが、本人の暮らしに必要な資源を十分に把握出来ていない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所が直接接していない時間、認知症の方はどのように過ごしているのか、特に独居の方の様子を把握するよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	7 人	0 人	0 人	15 人

前回の改善計画  
今後も継続し利用者、家族・介護者のニーズに合わせた柔軟な対応をする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
災害時 (台風接近、大雨等)、急な通いや宿泊の受け入れ、電話等での安否確認を行った。利用者、家族・介護者のニーズに応じて、柔軟な対応、支援が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	8	1	0	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	6	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	6	0	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	6	0	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者、家族・介護者のニーズや状態に応じた通い (時間短縮、時間延長、利用日の変更等)、訪問 (服薬介助・確認、配食サービス、体調確認、身体介護等)、宿泊、電話での安否確認等柔軟な支援が出来た。緊急時の通いや宿泊の受け入れ等も可能な限り対応した。  
日々のかかわりの中から本人の体調や気持ちの変化に気づき、記録に残し、職員間で共有する事が出来た。訪問理美容の利用、通い利用中の買い物は近くのスーパーへ注文し事業所へ配達してもらう、かかりつけ医の往診、近所の方のボランティア等その人に合った地域の資源を利用している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
その人に合った地域の資源を使い支援するよう心掛けているが、地域の資源では支えきれない事があり、自分たちの事業所で支援することがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
今後も利用者、家族・介護者のニーズに合わせた柔軟な対応をする。特に介護者が急病、自然災害時など、やむを得ない状況での受け入れ態勢を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 9 日 (13 : 00～14 : 00)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	9 人	5 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画	認知症カフェを活用し、登録者以外の高齢者や子供、地域の方が気軽に訪れることが出来る内容を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月認知症カフェを開催し、誰もが自由に参加し和やかに集う事が出来た。新しい参加者も増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	7	4	2	2	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	7	3	2	3	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	7	4	2	2	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	8	4	3	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月の地域ケア会議へは、介護支援専門員が参加し、全職員が参加することはないが、情報を共有するようにしている。又、サービス担当者会議を開催し他事業所との連携が出来ている。 地域の文化の祭典への作品出展や、地域の行事へは出来る限り参加した。 隣接する認定こども園の園児との交流が定期的に出てくる。又、地元の小、中学校のボランティアの受け入れ、専門学校生、大学生の実習の受け入れ等行なった。 毎月の認知症カフェの開催を新聞広告やチラシ等でお知らせし、地域の高齢者や子供、地域住民誰もが自由に参加している。又、認知症カフェへのボランティアの参加もある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
他事業所、自治体や地域包括支援センターとの会議には、主に介護支援専門員が参加しているため、全職員が参加する事は無かったが、情報共有はしている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も地域の各種機関・団体等の活動やイベントへ参加するよう努める。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 10 日 (13:00~14:00)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8 人	6 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画  
登録者以外の地域の方との関わりを深めていけるよう、今後も地域の行事に参加する。又、認知症カフェ開催の周知に努め、地域の方が自由に集える場を開設する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
地域への行事には出来る限り参加した。又、文化の祭典などにも作品の展示をさせて頂いた。認知症カフェには登録者以外の高齢者や子供、地域の方が自由に集まり和やかに集う事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	9	3	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	8	1	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	1	1	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	8	1	1	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
事業所内での良い雰囲気、良い関係づくりは継続して行なえた。連絡ノートの活用もうまく出来ており、情報の共有や把握も出来た。意見を言える職員、言わない職員もいるが、自己申告書や個人面接などで本人の意見を引き出すようにしている。年 1 回利用者、家族・介護者へのサービスアンケートを実施し、意見や要望に対して職員間で検討し即座に反映するよう努めた。又、玄関に意見箱を設置しいつでも誰でも、意見・要望・苦情等を受け付ける体制を整えているが、今まで利用されたことはない。隔月 1 回運営推進会議を開催し、利用者、利用者家族、地域住民代表者、地域団体代表者、民生委員、地域包括支援センター職員が参加し、希望や意見・要望を聞き、相談や助言を受け運営に反映するよう努めた。  
認知症カフェに参加される方との交流が図れるようになってきた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の行事に参加したり、地域の祭典へ出品する事で協働した取組みも少しずつ出来ているが、積極的な取組みとなっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
今後も、地域の方との関わりを深めていけるよう地域の行事に積極的に参加したり、地域の祭典などにもできるだけ作品を展示するよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 10 日 (13:00~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	7 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画  
可能な限り施設外研修にも参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
施設外研修に、可能な限り参加するよう努めたが、対象者にならない等の理由で参加できない職員もいた。しかし、虐待防止、身体拘束廃止などの施設全体研修を実施し全職員が参加しスキルアップに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7	6	2	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	6	3	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	7	1	4	3	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8	4	3	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ヒヤリ・ハット発生時、すぐ記録に残すとともに、ミーティングを実施し職員間で問題点を検討し、事故防止に努めた。又、利用者個々の身体状況を把握し、職員間で共通意識を持ち対応を行なった。年度初めに職員個々の研修計画を立て、施設内研修、施設外研修への参加を図り、スキルアップに努めた。又、出前講座を依頼し施設で受講することが出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
施設内研修には、全職員参加できているが、施設外研修については、対象者にならない等の理由で参加出来ていない職員もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
リスクマネジメントに取り組み、事故防止に努めるとともに、施設内研修の充実と全職員参加によるスキルアップを図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 10 日 (13:00~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	9 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画  
成年後見制度について認識を高め、必要時適切な対応ができるよう勉強会を実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
成年後見制度を必要とする利用者がいない為、成年後見制度に対する意識が浅い。研修会には参加したが、研修報告のみで、勉強会を実施することはなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	15	0	0	0	15
②	虐待は行われていない	15	0	0	0	15
③	プライバシーが守られている	13	2	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	4	1	2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	12	3	0	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
虐待及び身体拘束、職員倫理規程について施設研修や会議に全職員が参加し、虐待及び身体拘束、プライバシーの保護等についての理解と意識を高めている。又、自宅での虐待等が見過ごされることがないように、サービス利用時には全身観察を行ない、打ち身、傷などの異常が見られた場合は、家族に連絡し注意を払っている。訪問時には出来る限り家族・介護者の話を傾聴するよう努めている。  
日中玄関のドアや窓に施錠はしていない。又、門扉は開放したままである。  
利用者のケース記録等の個人情報は、全て鍵のかかる保管庫に入れており、適切な管理が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
成年後見制度が必要な方は現在いない。その為成年後見制度についての認識が甘い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
成年後見制度について認識を高め、必要時適切な対応が出来るようにする。